

『禁煙外来』

有川医療センター



禁煙外来にて治療を行う条件

(保険適用)

- ◆ 患者自らが治療を望むこと。
- ◆ ニコチン依存症診断用スクリーニングテスト (TDS) を行い、5点以上診断された者。
- ◆ 喫煙年数と一日の喫煙本数を掛けたものが200以上であること。(プリンクマン指数)
- ◆ 治療方法についての文章を読み、治療に関する承諾書を記述すること。



●保険適用となるためには上記4つの条件をクリアすることが必要です。

禁煙治療の流れ



- 初回受診から 12 週間が保険適用となり、計 5 回の受診をしていただきます。受診ごとに副作用の有無や禁煙の状況について話し、一酸化炭素濃度測定を行います。
なお、初回から 1 年経過すれば再び保険が適用されます。

受診状況

年齢別



性別



平成22年4月～平成23年3月までの禁煙外来受診者



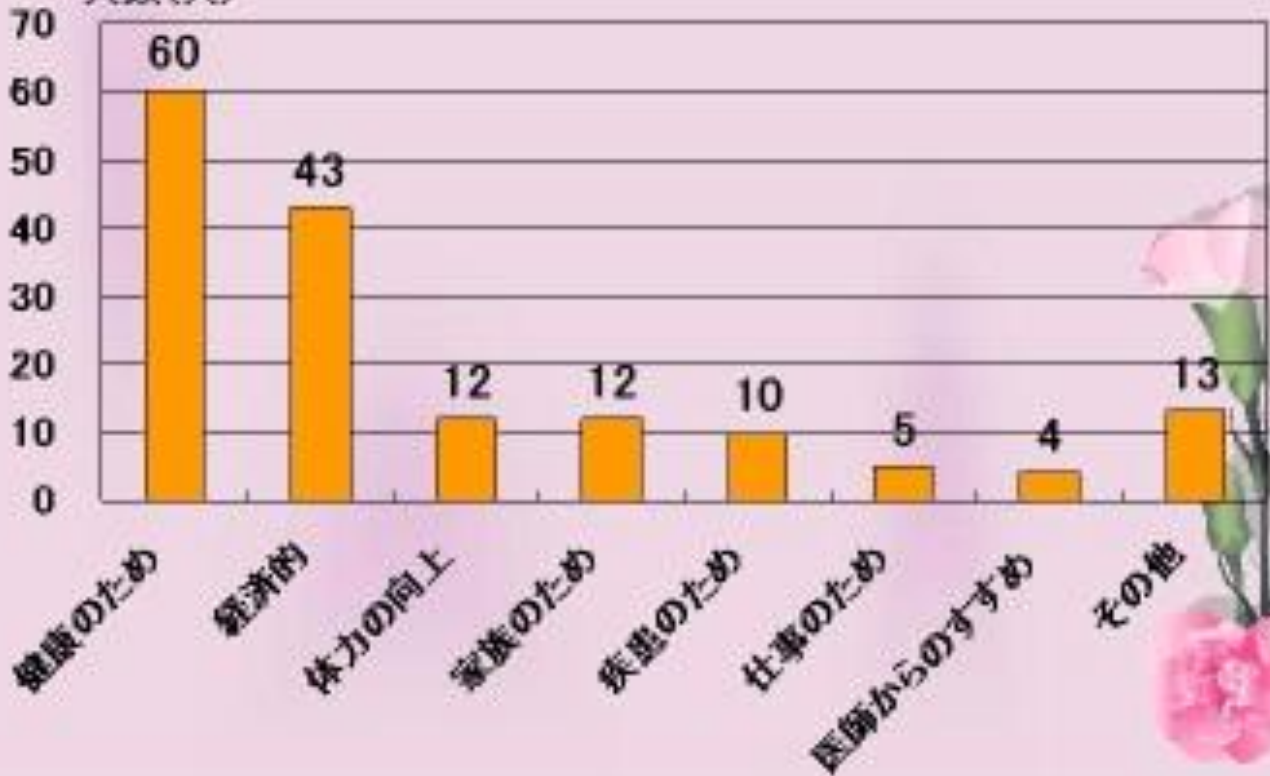
●当センターの受診状況です。

平成22年4月から平成23年3月までの禁煙外来受診者で内服薬治療を受けた105人を対象に統計を取ったものです。年齢別・性別について割合を表示しております。

禁煙の動機

人数(人)

* 複数回答



●禁煙の動機です。

最も多かったのは『健康のため』で、喫煙の害について広く理解されていることが伺えます。

また、平成 22 年 10 月のタバコの値上がり時に受診者が多くみられ、タバコによる経済的負担も大きいようです。その他、体力の向上、家族のため、仕事のためという方や喘息・高血圧・肺気腫などの疾患があつて医師からすすめられ、来られる方もいます。

禁煙成功率

治療終了時の成功率

当院



成功83人 / 105人

全国



厚生局
平成21年度禁煙成功率実態調査結果

●12週間の治療終了時点の禁煙成功率です。

当センターでは 79%と、全国の成功率とほぼ同じで、高い成功率がみられました。内服治療の治療効果の高さが伺えます。

禁煙治療終了後の成功率

当院
63.0%

治療終了後6～11ヶ月
経過した人で禁煙を継続
されていた方の割合
(回答率72%)

全国
49.1%

治療終了後9ヶ月経過時
での禁煙成功の割合

厚生局
平成21年度禁煙成功率実態調査結果

- 禁煙治療終了後 6～11 ヶ月経過した禁煙成功者 83 人に対して、今年 10 月に電話で聞き取り調査を行いました。回答率は 72%です。

現在も禁煙を継続されていた方は 63%でした。全国調査と比べると当センターでは高い成功率が得られています。

再喫煙を始めた時期ときっかけ

喫煙を始めた時期



再喫煙のきっかけ

- 何となく…
- 飲み会の時に人が吸っているのを見て
- 仕事でイライラして…
- 疲れているときについ1本
- 昼休み友人に誘われて
- 太ってきたから…

●再喫煙をはじめた 37%の方に時期ときっかけを伺いました。

喫煙を始めた時期に関しては、1ヶ月未満が35%で、治療終了後比較的早い時期に喫煙をしてしまう人が多かったです。

しかし、中には『受診前よりも本数が減った』『再度チャレンジしてみようと思う』という方もおられました。

健診受診者による喫煙率

特定・一般健診



国民健康保険加入の40歳以上と76歳以上の後期高齢者対象

生活習慣病健診



社会保険加入の35歳以上対象



●当センターで健診を受けた方の喫煙率です。

特定・一般健診では女性や高齢者が多い為、喫煙率は7%程度でしたが、生活習慣病健診では41%の方が喫煙しており、最近禁煙をはじめた方を含めると51%の方が喫煙者でした。

この事から、健診が禁煙を訴える良いきっかけの場だと考えます。一酸化炭素濃度測定を実施したり、パンフレットを渡して禁煙へのサポートをしていきたいと思えます。

お近くに禁煙を考えている方がいましたら、ぜひ、禁煙外来をすすめてみて下さい。

禁煙外来の“受診”をお待ちしております。